

【ねがいましては】

平成15年5月27日

第156号

KYOWA SCHOOL

「わかりません」

最近よく中学生達との中で「本」の話題が出ます。

本好きな子がいて、私が出合った本のことなど話しているうちに、思い出したある物語があります。

八杉晴美さんという、ある私塾経営者の方の書いた本で、「甦れ笑顔」という本です。その中に「わかりません」というところがあります。

内容は、あるまったく言葉を発しない中学2年生（女子）が塾に入ってきます。その子は何を聞いても何をさせてもまったく声を発しない子だったのです。学校でも同じらしく、ある英語の教師などは、その子が言葉を発しない子であったのをいいことに、先生が授業の中でたまたま忘れてしまった教科書の補充に、その子の教科書を取り上げ、そのまま授業をしてしまったり・・・

その子はやがて塾の授業で「わかりません」と声を発するのですが、その影に一人の女の子が、いつも彼女の傍らに居、そっと背中に手を回したり、そっと手を握ってあげたりしていたのだそうです。

そしてある日、彼女は一言「わかりません」と発言します。彼女の心の中での今までの葛藤、勇気・・・考えただけでも手を合わせたくなくなるくらいに、ドキドキします。また、そっと彼女の手を握っていてあげた子のやさしさ、思い・・・。

友達という2文字のもつすばらしさ、人を思うということのすばらしさ。わたしはある授業で、久しぶりに生徒たちに、この部分を読み聞かせしました。じっと聞いてくれました。みんなきつとそのような心を持っているのですね。そっと背中に手をまわして助けてあげたい。そっと手を背中にまわされ、助けてもらいたい。この助け合う心をもっともって育てて、やがて社会の中で当たり前のように振る舞うことができれば・・・。

このような心を育むことが今の子供達には充分になされているのか。

私は思います。どうしてこのような人と人との暖かい触れ合いを知るたびに、私の心は清く清くされてしまうのか。その助け合う姿の中には、まったくと言っていいくらい「自分の欲」がありません。ただただ人を思う心だけ。このような気持ちに包まれたまま机に向かう子供達。

成績だとか、順位だとか、他人の目だとか、まったく気にならない空気の中で、助け合いながら勉強をする。きっと子供達にとっては理想の空間になると思うのです。

私には少しだけ「自信」があります。今ここに通う子たちはきつとこの気持ちを手にして向かっている。とても純粋な気持ちで向かっている。その気持ちを抱いたまま、さてさて・・・。

キャンプが近づいてきました。キャンプってみんなこんな気持ちで生活しているよね。

みんな、心の洗濯しようね。きれいになろうね。・・・・・・・・・・。

6月の予定

6月 9日（月） 検定試験合格発表

21日（土） くりたのランチ、中学生期末テスト対策

22日（日） //

*上記の本（甦れ笑顔）、ご希望の方お貸しいたします。ご連絡ください。